

令和 2 年海岸功労者一覧

| 功績区分 | 事 項 | | | | 推薦者 |
|---|-----|--------|-----------|-------------------------------|-------------|
| | 番号 | 都道府県 | 個人・ 団体 | 氏 名・団 体 名 | |
| 海岸愛護 | 1 | 茨城県鹿嶋市 | 団体 | 鹿嶋の海岸を守る会 | 茨城県 |
| | 2 | 島根県出雲市 | 団体 | 学校法人永島学園出雲西高等学校 インターアクトクラブ | 島根県 |
| | 3 | 山口県萩市 | 団体 | きれいなまち・萩 推進市民会議 | 山口県 |
| | 4 | 熊本県八代市 | 団体 | 次世代のためにがんばろ会 | 熊本県 |
| | 5 | 新潟県新潟市 | 団体 | 真砂小学校区コミュニティ協議会 | 北陸地方 整備局 |
| 海岸事業に 関する研究 | 6 | 滋賀県大津市 | 個人 | 酒井 哲郎 (京都大学 名誉教授) | 近畿地方 整備局 |
| 都道府県 (4 団体) 地方整備局等 (1 個人・1 団体) 合計 (1 個人・5 団体) 6 件 | | | | | |

海岸功労者功績調書

1-3. 海岸愛護 (5 団体)

(敬称略)

| 番号 | 都道府県 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|------|---------|---|
| 1 | 茨城県 | 団体 | <small>かしま かいがん まもるかい</small> 鹿嶋の海岸を守る会 (代表 <small>いぐち よしなり</small> 井口 善成) |

(功績概要)

鹿嶋の海岸を守る会は、きれいな海・美しい浜辺再生及び維持を目的に、平成 18 年に発足した。毎月第 3 日曜に 1 時間、市内の海岸 5ヶ所で実施している定期清掃、年 1 回の鹿嶋市海岸一斉清掃を実施。また、マイクロプラスチックによる海岸汚染について、平成 24 年から地元高校生らと「世界海ごみ調査(クリーンアップ in かしま)」を実施し、調査研究結果を市民参加型イベント等で発表している。これらの活動は、鹿嶋市内の海岸の美化などに大きく貢献するだけではなく、地域の海岸保護、保全意識を啓発する活動として、他の模範となっている。

| 番号 | 都道府県 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|------|---------|---|
| 2 | 島根県 | 団体 | <small>がっこうほうじんながしまがくえんいずもにしこうとうがっこう</small> 学校法人永島学園出雲西高等学校 インターアクトクラブ (校長 <small>ながしま ひろあき</small> 永島 弘明) |

(功績概要)

出雲西高等学校インターアクトクラブは、1966 年に設立され、環境保全を中心に活動しており、海岸清掃は 41 年前から毎年、県東部の 5つの海岸で行っている。清掃を通じ外国からのゴミが多いことに着目し、韓国の中高生との交流を企画、10 年前からは共に市の海岸清掃と、ゴミを減らす検討会を行っている。近年は、海洋ごみやマイクロプラスチックを調査、環境保全活動の成果を発表する際には、調査結果を発表し、海洋ゴミやプラスチック流出の削減の重要性を広く発信している。このような活動は、環境美化に対する意識の向上に大きく貢献し、ほかの模範となっている。

| 番号 | 都道府県名 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|-------|---------|--|
| 3 | 山口県 | 団体 | <small>はぎすいしんしみんかいぎ</small> きれいなまち・秋推進市民会議 (代表 <small>きむら かずなり</small> 木村 一成) |

(功績概要)

同団体は、平成6年の発足以来、大井佐古海岸等の海岸清掃を行い、また、平成9年の福井県沖ロシア船座礁事故による、重油流失事故の際にも美しい海岸を守ろうと、メンバー5名が重油除去作業に参加した。同団体は、環境美化活動を実施することにより、地元住民の環境保全意識の向上を目的としており、他の清掃ボランティア団体等の模範となっている。このような活動は、海岸の美化等に大きく貢献するとともに、地域の海岸愛護、保全意識を啓発する活動として模範となるものである。

| 番号 | 都道府県名 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|-------|---------|-----------------------------|
| 4 | 熊本県 | 団体 | 次世代のためにがんばる会 (代表 松浦 ゆかり) |

(功績概要)

本団体は、次世代の子供たちにより良い環境を残し、自然環境を大切にする青少年を育成していきたいという想いから、平成13年に発足した。近隣の小・中・高校生の環境教育・体験活動の場として、水質・生物調査、美化活動や、環境保全のためのグループワーク、発表会等を開催し、青少年の育成に尽力している。また、地域住民、市民団体、企業の参加を募り、ゴミが環境生態系に与える影響についての学習会を行い、青少年を中心に、地域住民の海岸愛護、保全意識の啓発等に大きく貢献している。

| 番号 | 都道府県 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|------|---------|------------------------------|
| 5 | 新潟県 | 団体 | 真砂小学校区コミュニティ協議会 (代表 高田 豊) |

(功績概要)

同団体は、地域ボランティア行事として、毎年、海の日には新潟海岸の小針浜において、海岸清掃活動を平成18年の発足以来、継続している。また、地域の課題となっている飛砂被害を防止するため、砂浜への植栽活動や、飛砂防止の勉強会を積極的に行ったことが評価され、平成28年3月に全国で初めて、海岸協力団体に指定された。そのほか、海岸管理者で実施している安全利用点検にも参加し、活動している。このような活動により同団体は、海岸愛護・環境保全に寄与し、地域の模範となっている。

2-2. 海岸事業に関する研究 (1個人)

| 番号 | 都道府県 | 個人又は団体別 | 氏名又は団体名 |
|----|------|---------|----------------------|
| 6 | 京都府 | 個人 | 酒井 哲郎 (京都大学 名誉教授) |

(功績概要)

酒井哲郎氏は、昭和41年に京都大学を卒業してから京都大学で長きに渡り、海底地盤の波浪応答や海岸生態系、砂浜内空洞のリモートセンシング技術の開発などの研究を精力的に取り組んできた。その間、自身の研究成果を取り入れた「海岸工学入門」を執筆しており、平成17年には粒子法を用いて直立停前面の碎波・越波を解析した著書において、Costal Engineering Journal(CEJ)Award of 2005を受賞している。また「今後の海岸の在り方検討会」の委員を務めたほか、「明日の東播海岸を考える懇談会」の委員長として「東播海岸環境基本計画」の策定についての助言を取りまとめるなど、海岸事業の推進に尽力された。平成14年には、「大蔵海岸陥没事故調査小委員会」の委員長として、平成13年12月30日に兵庫県明石市大蔵海岸において発生した砂浜の陥没事故について、工学的な観点から事故の原因を解明するとともに、今後の対策方法を取りまとめた。これを受けて国は、陥没による事故の防止対策として、今後の人工海浜の整備、巡視点検、構造のチェック等に活用される「人工海浜の安全確保のため留意すべき技術的事項」を定め、これにより安全な人工海浜の整備が進むこととなった。